

事業所名 一般社団法人2MORO子どもデイサービスまりまり(児童発達支援)

支援プログラム(参考様式)

作成日 R7年 3月 17日

法人(事業所)理念		赤ちゃんからお年寄りまで、障害があるとかないとかが関係なく、共に住み共に過ごすことができる社会の実現を目指しています。私たちにできることをコツコツと進めていきます。					
支援方針		重症心身障害児・医療的ケア児の発育発達の支援、体調の安定を図り楽しく過ごせるように努めます。 また、日常生活に必要な医療的ケアを行いながら、子どもが子どもらしく地域で生きることを考え支援していきます。					
営業時間		8時	30分	17時	0分	送迎実施の有無	あり なし ※学校送迎、呼吸器利用児
支援内容							
本人支援	健康・生活	健康状態の維持や日々の体調管理、必要な医療的ケアの実施 ・来所時の体温測定、健康状態の把握 ・人工呼吸器等の医療機器の管理 ・看護師による必要な医療的ケアの実施(気管や口腔内の吸引、投薬、栄養注入など) ・それぞれの障がい特性に応じた視覚、聴覚などから支援や環境を設定し、分かりやすく構造化する ・作業療法士・言語聴覚士による日常生活・社会生活への支援と助言 ・月1回の体重測定、血圧測定					
	運動・感覚	作業療法士・言語聴覚士の評価に基づく、姿勢や運動・動作・感覚の支援 ・個々の活動しやすい姿勢や環境の設定・構造化 ・姿勢保持、関節可動域の維持、変形予防、運動・動作および筋力の維持・向上を図る ・保有する身体的機能を最大限発揮し、保有する感覚を活用できるように遊びを通して支援する					
	認知・行動	遊びを通して認知・行動の発達を促す ・季節ごとの野外活動、遊びを展開し自然の移り変わり、気温変動等の五感を刺激し季節が分かるような支援をする ・製作活動や感覚遊びを通して物の属性、形、色、音が変化する様子や大小、数、重さ、空間、時間等の概念の形成を図る					
	言語コミュニケーション	個々の特性に応じたコミュニケーション手段の確立を図り、自己決定や自己表現の幅を広げる ・遊び・活動や体験を通し意思決定(意思の形成・表出・実現)の支援を行う ・個々の身体機能の特性や得意な動きを活用したスイッチや機器の操作の獲得からコミュニケーションの手段として活用できるよう支援する ・遊びを通して相手の意図を理解し、自分の考えを伝えることや伝わる成功体験を積み重ね、伝えたい気持ちや伝わる喜びを感じ他者とのコミュニケーションの意欲に繋げる					
	人間関係社会性	他者との関わり(人間関係)の楽しみを知る ・見立て遊びや、ごっこ遊び、つもり遊びを通じて社会性の発達を支援する ・愛着を基盤に信頼関係を築き安心した環境で気持ちや情緒の調整ができるよう支援する ・子ども同士や支援者との遊びを通じて他者の存在を知り、人間関係の形成を図る ・集団での遊びを通じて手順やルールを共有し社会性の発達を支援する					
家族支援	・年に1~2回の家庭訪問による個別面談を実施。発達相談などできるようにする。 ・兄弟児の行事や保護者の就業状況に合わせて利用日や時間の変更など可能な範囲で対応する。 ・安心して通所し相談できるような環境と信頼関係づくり				移行支援	・就学に向けた情報共有 ・学校と連携し、つながりのある支援実施 ・訪問療育から通所への移行支援実施 ・ライフステージの切り替えを見据えた将来的な移行に向けた準備と情報共有	
地域支援・地域連携	・園外活動(散歩など)やお出かけ(買い物など)を通じて事業所近隣の環境を知る。また、近隣の他事業所とイベント(ハロウィンなど)を通じて交流を図る ・相談支援事業所と適宜、利用者の情報共有を図る				職員の質の向上	・面談の実施、個別目標シートの作成(年1~2回) ・研修会への参加 ・定期的なカンファレンス	
主な行事等	春: 花見、散歩、クッキング、保護者説明会 夏: プール、夏祭り(保護者参加、兄弟児含む)、保護者交流会(保護者、同法人の訪問看護職員も参加) 秋: ミニ運動会、ハロウィン(地域の方々の協力や他事業所と合同) 冬: クリスマス会(他事業と合同)、餅つき(保護者参加)、正月遊び、クッキング、卒園式(該当者がいれば) ※年2~3回 防災訓練(火災、地震、不審者)						